

【報道関係各位】

2022年4月28日
一般財団法人 日本気象協会

2022年桜開花予想（第10回） 北海道でサクラサク 函館から札幌、帯広で満開に

一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、理事長：長田 太、以下「日本気象協会」）は、日本全国 89 地点の桜 [ソメイヨシノ ほか] の開花予想（第 10 回）を、2022 年 4 月 28 日（木）に発表します。なお、今回で 2022 年の予想発表を終了いたします。

2022 年開花予想前線図



開花予想日(主な地点)

	地点	開花予想日	開花予想傾向	平年開花日	昨年(2021年)開花日
鹿児島県	鹿児島市	[3月20日]	早い	3月26日	3月17日
福岡県	福岡市	[3月17日]	早い	3月22日	3月12日
高知県	高知市	[3月19日]	早い	3月22日	3月15日
広島県	広島市	[3月21日]	早い	3月25日	3月11日
大阪府	大阪市	[3月23日]	早い	3月27日	3月19日
愛知県	名古屋市	[3月22日]	平年並	3月24日	3月17日
東京都	千代田区	[3月20日]	早い	3月24日	3月14日
長野県	長野市	[4月9日]	平年並	4月11日	3月29日
新潟県	新潟市	[4月8日]	平年並	4月8日	3月29日
石川県	金沢市	[3月30日]	早い	4月3日	3月23日
宮城県	仙台市	[4月8日]	平年並	4月8日	3月28日
秋田県	秋田市	[4月12日]	早い	4月17日	4月4日
青森県	青森市	[4月16日]	早い	4月22日	4月13日
北海道	札幌市	[4月23日]	かなり早い	5月1日	4月22日
北海道	釧路市※	5月6日	かなり早い	5月16日	5月8日

満開予想日(主な地点)

	地点	満開予想日	満開予想傾向	平年満開日	昨年(2021年)満開日
鹿児島県	鹿児島市	[4月1日]	早い	4月5日	3月30日
福岡県	福岡市	[3月27日]	早い	3月31日	3月22日
高知県	高知市	[3月27日]	早い	3月30日	3月23日
広島県	広島市	[3月29日]	早い	4月3日	3月25日
大阪府	大阪市	[3月30日]	早い	4月4日	3月28日
愛知県	名古屋市	[3月30日]	早い	4月2日	3月28日
東京都	千代田区	[3月27日]	早い	3月31日	3月22日
長野県	長野市	[4月11日]	早い	4月16日	4月1日
新潟県	新潟市	[4月11日]	平年並	4月13日	3月31日
石川県	金沢市	[4月5日]	早い	4月8日	3月29日
宮城県	仙台市	[4月11日]	平年並	4月13日	3月31日
秋田県	秋田市	[4月16日]	早い	4月22日	4月7日
青森県	青森市	[4月20日]	早い	4月26日	4月17日
北海道	札幌市	[4月25日]	かなり早い	5月6日	4月27日
北海道	釧路市※	5月9日	かなり早い	5月19日	5月11日

*予想日の[]はすでに開花、満開になった地点です。 ※釧路市はエゾヤマザクラの予想

開花と満開の傾向

桜前線は北海道へ到達しました。21日に函館、22日に帯広、23日には札幌、25日には室蘭、26日には旭川、27日には網走で開花し、北海道に桜の季節がやって来ています。帯広の22日開花と、網走の27日開花は、統計史上最速となります。また、函館、帯広、札幌では25日にそろって満開となり、現在見ごろを迎えています。明日29日からゴールデンウィークとなりますが、期間前半の30日には留萌で開花する見込みです。後半になると、5日に稚内、6日には釧路で開花するでしょう。ゴールデンウィークが明けると、根室から開花の便りが届き、2022年の桜前線はゴールに到達する見込みです。

寒さの厳しい冬を経て始まった2022年の桜のシーズンは、記録的に早い開花となった昨年と比べると、九州から東北地方までは1週間以上開花が遅かった地点が多くありました。しかし、北海道では4月に入ってから気温が高い日が続き、特に21日(木)～22日(金)は南高北低型の気圧配置となり、南から暖かい空気が流れ込んだ影響で、北海道でも帯広や網走で今年初の夏日を記録しました。そのため、開花のタイミングは昨年とほぼ変わらない、または2、3日早くなる場所もありました。



秋田県仙北市 桜木内川堤 (4月24日撮影)



全 89 地点の桜の開花予想日は、日本気象協会が運営する天気予報専門メディア『tenki.jp (てんきじえーぴー)』桜の開花予想ページ(<https://tenki.jp/sakura/expectation/>)にて公開しています。

【言葉の説明】

平年:1991～2020 年の平均値

かなり早い	: 平年よりも 7 日以上早い
早い	: 平年よりも 3 日から 6 日早い
平年並	: 平年との差が 2 日以内
遅い	: 平年よりも 3 日から 6 日遅い
かなり遅い	: 平年よりも 7 日以上遅い

以 上



参考資料

桜開花予想に関するよくあるご質問

Q1: 桜開花予想の発表のスケジュールは？

A1: 以下の日程を予定しています。1月、2月中は開花予想日のみを発表し、3月以降は開花予想日と満開予想日を発表します。

第1回 1月27日(木)	第2回 2月10日(木)	第3回 2月24日(木)	第4回 3月3日(木)
第5回 3月10日(木)	第6回 3月17日(木)	第7回 3月24日(木)	第8回 3月31日(木)
第9回 4月14日(木)	第10回 4月28日(木)		

Q2: 開花日・満開日の基準は？

A2: 気象庁の観測基準と同じです。開花日は標本木で5～6輪以上の花が咲いた状態となった最初の日、満開日は標本木で80%以上のつぼみが開いた状態となった最初の日です。

Q3: 予想する地点数は？

A3: 1月、2月中は49地点、3月以降は全国で89地点の予想を発表します。予想地点89地点は、各地気象台が観測する標本木53地点と自治体・公園などの協力機関から観測データを得られる36地点となります。

Q4: 日本気象協会の桜開花予想の手法・特徴は？

A4: 花芽(はなめ)の生育過程に大きな影響を与える「秋以降の気温経過」に重点を置いた、独自の予測式を用いて開花予想を行っています。各地気象台の標本木や公園などの協力機関による正確な観測データを重視した、気象学的根拠に基づいた予想を出しているのが特徴です。

日本気象協会は2007年から桜の開花予想を実施しており、今年で16年目の取り組みです。

Q5: 開花予想に使うデータは？

A5: 以下データを使用しています。

- ① 前年秋から予想作業日前までの気温観測値
- ② 予想作業日から開花時期までの気温予測値(日本気象協会ポイント予報および長期予報)

桜の開花時期には、前年の秋から春にかけての気温が大きく影響します。桜の花芽は前年の夏に形成され、その後、休眠に入ります。冬になって一定期間の低温にさらされると、花芽は休眠から覚めます(休眠打破)。休眠から覚めた後は、気温の上昇とともに生長し開花しますが、気温が高いほど花芽の生長が早く進み、開花が早まると考えられています。